

様式 7

「学校」部門

河川基金助成事業

「御船川探検隊」 報告書

助成番号：2019 - 7211 - 006

熊本県御船町立御船小学校

校長 中野 浩幸

2019 年度

助成番号	助成事業名		学校名			
2019-7211-006	河川教育部門		御船町立御船小学校			
校長名	中野浩幸	担当教諭名	田村 和也			
過去の助成実績	なし (あり) [助成番号：2018-7211-008 助成事業名：河川教育部門]					
キーワード						
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名) 小学生 (4年 62名)					
対象河川名	御船川	活動場所の指定状況	なし			
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
<p>テーマ : 御船川調査</p> <p>ねらい :</p> <p>○御船川に関わる調査発表会が開けるように、見通しをもって主体的に学習を進めることができる。 【学習を主体的に進める力】</p> <p>○御船川に関わる必要な情報を収集するなど、試行錯誤しながらも自分たちで課題を解決することができる。 【課題を解決する力】</p> <p>○課題を解決する中で学んだことを、友だちと協力して、相手に分かりやすく伝えることができる。 【伝え合う力】</p> <p>○調査発表会を実現するために取り組んできた自他のがんばりを振り返ることができる。また、本学習でお世話になった方々へ感謝する心を持つことができる。 【自分を見つめる力】</p> <p>評価の観点：調べたことやまとめ方を工夫し、分かりやすく発表することができる。</p> <p>活動時期の予定：令和1年12月から令和2年2月</p>						
活動形態	総合的な 学習の時間	各教科学習 ()	クラブ活動 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の 活動時間数	35時間	時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
外部小学校 の支援	保護者 の支援	外部中学校の 支援	外部高校 の支援	外部大学 の支援	市民団体 の支援	専門家等の個 人の支援
河川管理者 の支援	行政機関の支援 ・博物館 ・歴史資料館 ・デジタルセンター 等		関係団体等の支援 ・漁協 ・農協		企業 の支援	その他
支援概要	○児童の安全確保 ○御船川の歴史、水質、魚・水生生物についての知識面の支援					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	報告書掲示予定 (流行病のため)		
・調査報告会 (学級)						
安全対策に関する課題						
特になし						
今後の課題・展開						
<p>・地元である御船川について知ることができ、また、川の学習を切り口に町の発展についても学ぶことができ、子どもたちの故郷愛が高まった。休日にゴミ拾いをする児童の姿も見られ、環境への関心の高まりも感じている。</p> <p>・各学級で発表会を行い、感想交流を行うことで、理解を深めたり、地域への関心を共感したりした。</p>						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録 するキーワード	河川教育 部門	教育活動	生物調査系	水生生物・魚類	9月～ 2月	
			文化・歴史系	歴史・水害・水利用		

※データベースに登録するキーワードは、本冊子P.77の表から代表的なものを2つ記入して下さい。

1. 助成事業	河川教育部門		
学校名	御船町立御船小学校	助成番号	2019-7211-006
2. 実施する教科・領域	総合的な学習の時間		
3. 実施日時	令和1年9月～令和2年2月		
4. 単元目標	<p>○御船川に関わる調査発表を開けるように、見通しを持って主体的に学習を進めることができる。</p> <p>○御船川に関わる必要な情報を収集するなど、試行錯誤しながら自分たちで課題を解決することができる。</p> <p>○課題を解決する中で学んだことを、友だちと協力して、相手に分かりやすく伝えることができる。</p> <p>○調査発表会を実現するために取り組んできた自他の頑張りを振り返ることができる。また、本学習でお世話になった方々へ感謝の気持ちを持つことができる。</p>		
5. 学年 人数	第4学年 62名		
6. 実施場所	御船川 及び 御船小学校		

活動指導計画 第4学年 総合的な学習の時間「御船川探検隊」全33時間

	学習活動 御船町水道課の方の話から、御船町に関心を持ち、課題解決のための調査活動を行う。 13時間
第一次	<p>1 見学旅行（通潤橋）から、郷土の発展のための人々の努力を学び、御船川に関心を向けさせ、調べたいことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドの方の話を聞きながら、ワークシート（しおり）にまとめる。 ・学級の中で班ごとに、学習したことを出し合い、更に水に関しての関心を高める。 <p>2 社会の学習から、地下水に関心を持ち、御船町の水道について調べたいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分たちの町の水はどこから来るのか」という学習課題から、疑問点を出し合う。 ・資料（地図・インターネット）からもわからなかったことについて、役場に尋ねてみる。 <p>3 御船町水道課の方の話を聞き、その仕事内容と努力について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞きながら、メモを取り、質問をする。 <p>4 学習したことをもとに、お礼の手紙を書き、自分たちでできることは何か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「節水してほしい」という願いから、自分たちでできることを考え、伝え合う。
	
	学習活動 御船川について調査し、地域の環境を守ろうという意識を高める。 20時間
	<p>1 国土交通省の方の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な御船川について、実はよく知らないということを確認し、知りたいことを学級で出し合う。 ・御船川・緑川のことについて、説明を聞き、更に関心を高める。 <p>2 地域の方の話を聞き、地域の伝説を知り、環境保全の意識を高める。</p> <p>3 地域の方と一緒に川の清掃活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地で昔の川の利用や河童伝説について話を聞く。 ・清掃活動後、ごみの分別を行う。
第二次	 

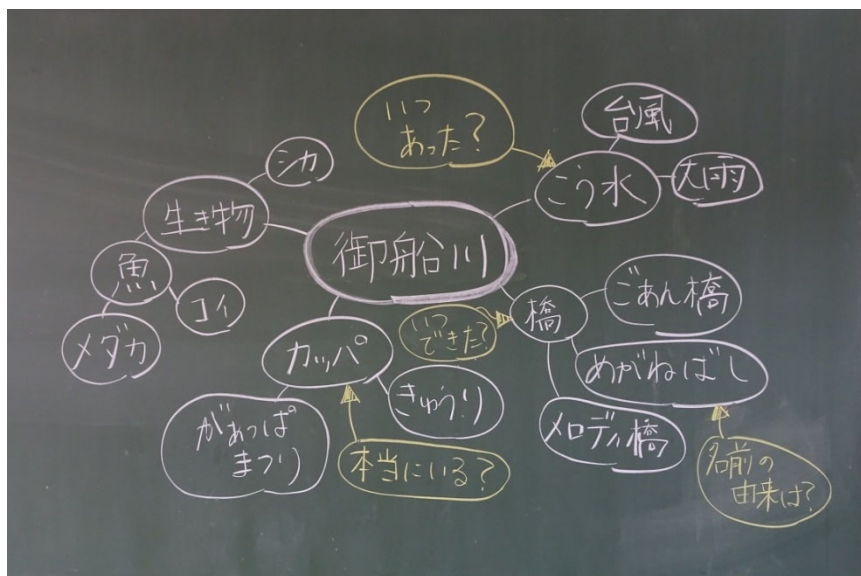
スタートアップ活動報告書

別紙資料 第1次 御船川とふれあい、学習課題を発見しよう

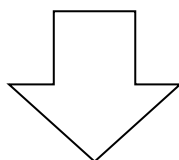
- ・御船川の現状について出し合う。
- ・御船川の水質について予想する。
- ・御船川について知りたいことを出し合いまとめる。

【川での活動】御船川についての課題作り

(全体でのウェビングを行いグループごとに課題を持たせた。)



3 御船町の水道課の方の話聞く。



① 見学旅行から、郷土の発展のための人々の努力を学び、御船川に関心を向けさせる。

白糸台地の人々の工夫や努力を現地の様子を見たり、ガイドの方の説明を聞いたりしながら学習した。川の水を人々へ届けるためのしくみや、石工の工夫を目の当たりにして、感心する児童の姿があった。また、メモを取りながら更に知りたいことはその場で質問したり、持ち帰って調べたりするようにした。実際の土地の高低差を見ることができ、川の水が本当に運ばれてくるのか疑問に思っていた児童も、感動している様子であった。

② 社会の学習から、地下水に関心を持ち、御船町の水道について調べたいことを考える。

「熊本の水は地下水100%」という社会の学習内容から、「自分が住んでいる御船町の水はどこから来るのか」という新しい学習課題を設定し、調べ学習を進めた。役場の方に話を聞くことになり、各学級で質問事項を出し合った。



③ 御船町水道課の方の話を聞き、その仕事内容と努力について知る。

学年でまとめたものをもとに、水道課の方に伝え、説明して頂いた。児童は、自分の学校や家の水がどこから来るのか、どんな仕事をしているのかを知ることができ、「節水してほしい」という職員の願いから、自分たちにできることは何か考えることができた。学級のグループごとに、取り組みたいことを発表し合った。

④ お礼の手紙を書き、自分たちにできることは何か考える。

「節水」というテーマから自分たちにできることを班で話し合う。一人一人自分の目標を設定し、学習発表会の原稿にも取り入れ、発信した。

第2次 調査活動により、学習したことをまとめ、他学年の児童・地域・保護者へ発信しよう。

① 国土交通省の方の話を聞く。



御船川について、川の長さ、緑川に流れ込むこと、昔と今の風景の違い、御船川の水の利用のされ方（生活用水、農業用水、発電用水、江戸時代から昭和54年頃までは酒造りにも）、川に生息する生き物について、昭和63年の御船川出水について、御船川の整備状況について、川の危険と避難について、資料を基に講義形式で説明をしていただいた。身近な川について知らないことがたくさんあり、それを知ることができて児童はとても喜んでた。



②地域の方の話を聞き、御船川への関心を高める。

「御船」という名前の由来や、昔の町の発展の歴史など、地元の町について話を聞き、関心を高める。話の中で、河童伝説の詳細についても説明して頂き、児童からの質問も多く出た。後日、一緒に河川掃除に行く中で、河童像の前で詳しくまた説明をして頂いた。どうして河童の像があるのか、なぜ家族4人なのか、知りたいことが分かって児童はとても満足していた。

また、河川探検から学校へ戻り、どんなゴミが多いのか分別した。ゴミがそんなになく、きれいな川であったことを誇りに思う児童が多かった。また、継続してきれいにしたいという気持ちから、学習後、自主的にごみ拾いをする児童も姿も見られた。

別紙資料（1）総合的な学習の時間 指導報告

<単元の目標>

- 御船川に関わる調査発表会が開けるように、見通しをもって主体的に学習を進めることができる。 【学習を主体的に進める力】
- 御船川に関わる必要な情報を収集するなど、試行錯誤しながらも自分たちで課題を解決することができる。 【課題を解決する力】
- 課題を解決する中で学んだことを、友だちと協力して、相手に分かりやすく伝えることができる。 【伝え合う力】
- 調査発表会を実現するために取り組んできた自他のがんばりを振り返ることができる。また、本学習でお世話になった方々へ感謝する心を持つことができる。 【自分を見つめる力】

段階	月	子どもの意識と主な活動内容【予想されるGT】	主な教師の指導・支援	中心となる評価の観点	関連する基礎・基本
みとおす	9月	<p><活動1></p> <p>水はどこから来るのか調べよう</p> <p>熊本は地下水100%。御船町は？水道から水が出るために、だれがどんな仕事をしているのかな。</p> <p>御船町水道課の方の話を聞いてみよう</p> <p>学習の見通しをもって計画を立てる</p>	<p>○児童の関心や既習事項との関連からテーマを選択させる。 〔児童が考えた課題〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御船町は地下水なのか ・どんな仕事をしているのか <p>○水道課の方の話から更に気になったことをノートにまとめる。 (御船町水道課)</p>	<p>【学習を主体的に進める力】</p> <p>○教師の支援により、主体的に課題を発見したり、時期や順序を考えて学習の流れや方法を見通したりすることができる。</p>	<p>4年社会</p> <p>「わたしたちのくらしと水」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浄水場の様子、水をきれいにする組織的・計画的な仕組みを理解する。 ・水を守る努力について調べる。 ・身近な川の環境に目を向け、環境を守るために何ができるかを考える。 <p>「大地をうるおす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白糸台の人々の工夫や郷土の発展のための努力を調べる。
	10月	<p>学習したことをまとめ、各学級で報告をする</p> <p>水道から水が出るには多くの人の努力がある。通潤橋の学習にも通じるところがある。もっと水を大切にしないといけない。</p> <p>新たな疑問「御船川」について調べたいことをまとめる</p>	<p>○「学校のみんなや保護者に伝える」という目的意識を持たせて、工夫した表現ができるよう支援する。</p>	<p>【課題を解決する力】</p> <p>○目的に応じて、聞き取りをしたり、図書や情報機器を活用したりすることができる。</p>	
ふかめる	11月 12月				
	1月	<p><活動2></p> <p>国土交通省の方から御船川についての話を聞く</p> <p>昔の御船町についてももっと調べてみたい。地域の人からも話を聞きたい。</p> <p>国土交通省の方から話を聞く</p> <p>自分たちの暮らしと川は、昔から深い関係があるのだなあ。御船川をこれからも自分たちで守っていききたい。調べたことを壁新聞で発信したいな。</p> <p>御船川探検で学んだことをみんなに知らせよう。</p> <p>学習してきたことを班ごとにまとめ、みんなに知らせる。</p> <p>「グループ発表会」</p> <p>みんなに知ってもらえるようになってよかったね。協力して、分かりやすく発表できたからうれしかった。</p> <p>学習を振り返る</p>	<p>○御船川の説明や歴史を聞かせ、御船川への関心を持たせる。</p> <p>○大事なことをノートにメモさせ、後の学習に活かせるようにする。</p> <p>○自分たちの活動のよさやがんばりに気づき、達成感を得られるように支援する。</p>	<p>【伝えあう力】</p> <p>○お互いのよさを認め合いながら、相手に分かりやすく自分の考えを伝える。</p> <p>【自分を見つめる資質】</p> <p>○学習を通して自分のがんばりを振り返ることができる。また、お世話になった方々への感謝の気持ちをもつことができる。</p>	<p>4年国語</p> <p>「ローマ字」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字を読んだり書いたりする。 (ワープロやパソコンを使う。) <p>「聞き取りメモを取ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取ったことを短く記号等を使いながらメモする。 <p>4年社会</p> <p>「ごみのしまつと利用」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを評やグラフに表す。 ・ごみ処理の仕組み、資源ごみの再利用について考える。 ・環境を守る町の取り組みについて考える。 ・ごみをへらすために自分たちにできることを考え、分かりやすく表す。 <p>4年国語</p> <p>「クラスで話し合おう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活を振り返り、司会者・提案者・参加者という役割を意識しながら話し合う。
ねりあげる	2月				

第4学年2組 総合的な学習の時間 学習指導案

- 1 日時 令和2年2月18日（火）第5校時
- 2 場所 4年2組教室
- 3 指導者 教諭 田村 和也
- 4 単元名 「御船川探検隊」
- 5 単元について

（1）単元設定の理由

御船町は、自然が豊かで児童の生活の身近なところに御船川がある。御船川は水質がきれいな川で、きれいな川にのみ生息する水生生物も多数生息している。だが、児童は自らの生活に深く関わっている御船川に対し、あまり関心を抱いていない。安全上の理由から、児童のみの川遊びは禁止されており、川に近づく児童はほとんどいないが、保護者と共に川遊びをしたり、バーベキューしたりする児童も中にはいる。登下校で橋を渡る際に川の様子を見ており、濁流をみて、御船川が汚い川だと思っている児童もいる。川の濁りと汚れの区別がつかない児童も多い。また、御船川にかかっていた眼鏡橋についても、知らない児童もいる。

そこで、本単元を設定し体験や調査活動をすることで、御船川に関心をもち、御船川が御船町の歴史と深く関わり、自らの生活にも深く関わっていることを学ぶことができる。また、学習を進めて行く中で、御船川やその他の河川の保全活動をされている方々や、御船川の歴史に詳しい方々と出会わせることで、自分の生活を見直し、自然を大切にするために自分にできることを考え、ふるさとである御船町に対して誇りを持つことができると考える。また、御船川について学習することで、第5学年での「水俣学習」に繋げることができる。

この学習を通して、自然や環境について関心をもち、環境保全に配慮した望ましい働きかけのできる児童の育成を目指していきたい。

（2）児童の実態

本学級は、男子19名、女子13名、計32名（特別支援学級男子1名女子1名）である。さまざまなことに興味関心を抱き、自分たちで調べたりまとめたりすることが好きな児童が多い。今までの班活動を通して、協力してまとめたり、発表したりする活動には慣れている。

本単元では、実際に御船川で調査活動を行い、児童の日常生活に深く関わっている御船川に興味関心を抱かせるとともに、環境について目を向け、第5学年での「水俣学習」に繋げていきたい。

6 単元の目標

- 御船川に関わる調査発表会が開けるように、見通しをもって学習を進めることができる。 **【学習を主体的に進める力】**
- 御船川に関わる必要な情報を収集するなど、試行錯誤しながらも自分たちで課題を解決することができる。 **【課題を解決する力】**
- 課題を解決する中で学んだことを、友だちと協力して、相手に分かりやすく伝えることができる。 **【伝え合う力】**
- 調査発表会を実現するために取り組んできた自他のがんばりを振り返ることができる。また、本学習でお世話になった方々へ感謝する心を持つことができる。 **【自分を見つめる力】**

7 単元の評価規準

	学習を主体的に進める力	課題を解決する力	伝え合う力	自分を見つめる力
評価規準	御船川での体験から課題を見つけ、と友だちと協力して学習を進めることができる。	課題解決の見通しをもち、さまざまな調査方法を使って、適切に課題を解決することができる。	学習してきたことを、他者に分かりやすく表現することができる。	自分の活動を振り返り、自然との関わりに目を向けながら自分の考えを持つことができる。

8 活動計画及び評価計画

		小単元	主な学習活動	評価基準及び評価方法
みとおす	第一次	水の学習から発展させ、自分たちの町の水はどこから来るのか調べる。 (13時間)	○御船川というキーワードからウェビングを行い、関心を高める。 ○学習の見通しをもって計画を立てる。 ○学習したことをまとめ、更に調べてみたいことについてまとめる。	御船川に興味を持つと共に、学習課題を見つけ、さまざまな調査方法を使って課題を解決することができる。 (行動観察・学習シート)
ふかめる	第二次	更に調べてみたいことについてまとめ、国土交通省の方・地域の方のお話を聞く。 実際に河川探検へ行き、ごみ拾いや地域の伝説の話聞く。 (20時間)	○学習をまとめ、中間報告会を行う。中間報告会で出た質問や感想を元に、調べ学習を行う。 ○実際に川の様子を見て、地域愛を深め、大切にす気持ちとそれを発信する気持ちを高める。	調べ学習してきたことをまとめ、相手に分かりやすく伝えることができる。(行動観察・壁新聞) 調べてきたことをもとに、自然とどのように関わり目を向け、御船川を守るために自分たちに何ができるか考えることができる。 (行動観察・学習シート)

9 指導上の留意点

- 課題設定の場面では、御船川での生活体験から、児童が調べてみたいと思うことを大切にし、各自で課題を設定し同じ課題毎にグループを設定し調査活動を行うようにする。
- 課題追求の場面では、資料だけではなく地域で活動されている方々に話を聞きに行ったり、ゲストティーチャーに来ていただいたりすることで、調査学習を深めていく。
- 情報機器でインターネットを利用して調べる際には、情報モラルについて学習し、適切に利用できるようにする。
- 中間発表会は、互いにアドバイスをし合って改良を加えるための機会とする。その後、追加調査を行ったり、今後の自己の生活を見直したりするなど、自然保全のために何ができるのか考えさせる。

10 本時の展開

(1) 本時の目標

御船川について調査したことを発表し、分かりやすく伝えることができる。

過程		学習活動	発問 (◎) 児童の反応 (・) 評価 (☆) 教師の支援 (○)	備考
みとおす 5分	徹底	1 本時の学習内容を 確認する。	◎これまで調べてきたことをまとめて発表し、意見や質問を出し合い、今後の調査活動に繋げていくことを確認する。	
◎これまで調べてきたことを発表し合い、意見を出し合おう。				
ふかめる 30分	能動	2 グループ毎に調べたことを発表し合う。	◎これまでに調べてきたことを、グループ毎に発表しましょう。質問や意見がある時には、各グループの発表後に伝えましょう。 ○発表者は分かりやすい発表に努め、聞き手は、それについて自分の感想等返し行い、盛んな意見交流ができるようにする。 ☆まとめ方を工夫して、分かりやすく発表することができる。 ☆発表について、質問や意見などを伝えることができる。 ○意見交流が終わったところには、自分たちにできることは何か話し合うようにする。	・ノート・学習資料など
ねりあげる 10分	徹底	3 発表をし合ったことを、振り返りシートに記入し発表する。 4 次時の活動の確認をする。	◎発表を聞いて分かったこと、疑問に思ったこと、上手だったところ、これからもっと良くしていきたいこと等、自分の考えを書きましょう。 ○書けない児童には、自分の発表を振り返り、もっと良くしていきたい点を書くように声かけをする。 ◎次回は、学年で伝えあう時間です。	・振り返りシート

(2) 評価基準

作成した資料などを活用し、相手に分かりやすく発表することができる。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019-7211-006	御船川探検隊	御船町立御船小学校 中野 浩幸



フィールド：御船小学校（交流ホール）

日付：R1. 9. 27

コメント：御船町水道課の方を招き、水道課の仕事内容や、御船小学校の水道の水はどこから来るのか、その過程を説明して下さった。その後、更に気になったことについて質問し、丁寧に答えて頂いた。上下水のパイプの色が違うことや24時間体制で働いてくださっていることを知り、水のありがたさを考えることができた。学習後、班や学級で振り返りを行い、お礼の手紙を書くことにした。



フィールド：御船小学校（交流ホール）

日付：R2. 2. 3

コメント：国土交通省の方をお招きし、お話を聞いた。御船川は、緑川に流れ込む川であり、昔から人々の生活と共にあったこと、川の水が様々な用途があったこと、様々な生物が生息していること、昭和63年に豪雨による出水があったことなど、多くのことを勉強することができた。身近な御船川に様々な歴史があることを知り、子どもたちは興味津々の様子であった。歴史ある御船川を守っていききたいと感想をもった児童もいた。



フィールド：御船川(御船川下)

日付：R2. 2. 13

コメント：地域の方と一緒に御船川のゴミ拾いを行った。6年生がした後の一週間で、どれくらいゴミが出るのか調べることができた。出てきたゴミは、学校に戻り分別し、どの種類のごみが多く出るのか知ることができた。また、御船町に伝わる河童伝説の話を、河童像の前で聞くことができた。地元御船町に対する愛着と環境を守ろうとする気持ちが強まった。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2019-7211-006	御船川探検隊	御船町立御船小学校 校長 中野 浩幸

主な実施箇所	御船川
--------	-----

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は 1/50 万～1/100 万程度)

助成事業の主な実施箇所

